



こちら、よんひがしです。

近畿中央病院
産婦人科病棟
2012年12月号
VOL. 15

つつい食べ過ぎてしまい体重増加が気になる季節となりました。
今回は、当院産科で最近取り入れられた妊娠糖尿病検査についてお話ししたいと思います♪

★ 糖尿病とは・・・

まず糖尿病とは、血糖を下げるホルモン（インスリン）が不足、または作用が低下したため、体内に取り入れられた栄養素が、うまく利用されずに血液中のブドウ糖が多くなっている状態（高血糖）をいいます。

この状態が長く続くことにより、様々な障害が出現してしまいます。

では… 「妊娠糖尿病」という言葉をみなさんは聞いたことがありますか？

★ 妊娠糖尿病とは・・・

妊娠糖尿病とは、妊娠中に初めて発見、または発症した糖代謝異常のことをいいます。

妊娠したことにより、胎盤が形成され赤ちゃんに栄養を運ぶことができます。

しかし、胎盤はインスリンの効きを悪くするホルモンを産生しますが、正常な妊婦さんはインスリンを多く分泌することによって、高血糖になるのを防いでいます。

しかし、インスリンの分泌が不足している妊婦さんは、血糖を下げることができないため、高血糖となり胎盤を通して多くのブドウ糖が赤ちゃんへ移行することにより巨大児になります。

胎児は血糖を下げようとしてインスリンを過剰分泌し高血糖にならないように調節していますが、出生後は母親からのブドウ糖の供給がなくなるため、低血糖を引き起こしてしまいます。また、先天異常、奇形、黄疸、呼吸状態を起こす可能性が高くなります。

このような危険な状態を予防するために、検査を行い適切な治療を行い、血糖値をコントロールしていく必要があります。

★ 検査や治療方法

当院では妊娠26週に50gGCT（グルコースチャレンジテスト：経口ブドウ糖糖負荷テスト）を行なうことで妊娠糖尿病の早期発見を行なっています。

50gGCT（グルコースチャレンジテスト）

食事時間に関係なくブドウ糖50gを飲み、1時間後に採血を行い血糖値を測る検査です。血糖値が140mg/d l 以上の場合は陽性を判断されます。

陽性と判断されたら、75gOGTT（空腹時経口ブドウ糖負荷テスト）を行ないます。

75gOGTT（空腹時経口ブドウ糖負荷テスト）

朝食抜きで受診し、ブドウ糖75gを飲む前、飲んでから1時間後、2時間後に計3回、採血を行い血糖値を測ります。

空腹時100mg/dl、1時間値180mg/dl、2時間値150mg/dlのうち2項目満たせば妊娠糖尿病と診断されます。

当院での治療は、食事療法やインスリン療法を行なっています。